

Oct.ITERO#6:キリストのからだの実際、すなわち神のエコノミーにおける最高峰と聖書における最高の啓示の内在的な意義の中へと入る 1/11-17 **OL Summary: I. キリストのからだの実際は、神のエコノミーにおける最高峰と聖書における最高の啓示であり、知恵と啓示の霊を通して啓示されます。**
A. 私たちはキリストのからだの実際を知り、キリストのからだの実際の領域と内在的な意義の中へと入るために啓示を必要とします。**B.** 神からの啓示だけが、私たちをキリストのからだの実際という領域の中へともたらします。**C.** 神の究極的な定められた御旨についての天のビジョンを見る秘訣は、私たちが進んで代価を払うことです。
II. シオンによって予表される勝利者は、キリストのからだの実際であり、諸地方召会の中でからだの建造を究極的に完成して、永遠において究極的に完成した聖なる都、新エルサレムをもたらします。新エルサレムは神の住まいとしての至聖所です。新天新地において、新エルサレム全体はシオンとなり、すべての信者は勝利者となっています。
A. シオンによって予表されている勝利者は、キリストのからだの実際であり、召会の高嶺、中心、引き上げるもの、強めるもの、豊かにするもの、麗しさ、実際です。**B.** エルサレム(召会)の特徴、命、祝福、確立は、シオン(勝利者)から来ます。**C.** 神はいつも少数の信者を用いて、命の流れを召会に至らせ、召会を復興します。勝利者たちは召会に代わって、苦難の中でキリストの勝利の地位を取ります。**D.** 予表において、勝利者(成就されて円熟している神・人)は、今日のエルサレム(召会生活)の中の今日のシオンです。**E.** 主の回復は、シオン(勝利者)を建て上げるためにあります。勝利者は、キリストのからだの実際として、新エルサレムにおいて究極的に完成します。**F.** キリストのからだの実際は、成就された神・人(勝利者)による団体の生活です。彼らは真の人ですが、自分の命によって生きるのではなく、手順を経た神の命によって生きます。手順を経た神の属性は、彼らの美德を通して表現されてきました。
III. 他の肢体と共にキリストのからだの実際の中で生きるために、私たちはみなキリストのからだの感覚を持つ必要があります。
A. 「ニー兄弟はからだについて教えたとき、私たちが何を行なうにしても、諸召会がそれについてどのように感じるかを考慮しなければならないと言いました」。**B.** からだの中に、独立や個人主義はあり得ません。なぜなら、私たちは肢体であり、肢体はからだから分離して生活することはできないからです。**C.** 私たちの生活と、私たちの持っているものはすべて、からだの中で、からだを通して、からだのためにあります。神は今日、このような人を探しています。**D.** 自分たちがからだの肢体であることを見ている人は、からだを尊び、他の肢体を重く見ます。キリストのからだの中では、すべての人が肢体であり、肢体以上の何ものでもありません。ですから、他の肢体なしに生きることができない肢体は一人もなく、他の肢体を軽視することはなおさらできません。**E.** すべての肢体には機能があり、すべての機能はからだのためです。一つの肢体の機能は、からだ全体の機能です。こういうわけで、私たちは他の肢体を模倣したり、他の肢体をうらやんだりすべきではありません。**F.** パウロがコロサイ4:7~17で述べたすべての名は、パウロにはからだの感覚、すなわち一人の新しい人の感覚があったことを示しています。**G.** からだの成長と発展に対し

て必要不可欠なことは、私たちが自分の度量を認識し、それを越えないということです。**I.** すべての肢体は自分の度量を知り、自分を高く見すぎるべきではありません。すべての人がこのようであれば、何のねたみも、野心も、他の人ができることをしたくなる願望もなくなるでしょう。**II.** からだの啓示がある所には、必ずからだの感覚があります。からだの感覚がある所では、必ず個人主義的な考え方や行動は除き去られます。**IV.** キリストのからだの実際のために、神はからだを調和させられました。「調和(ブレンド)される」という言葉は、「調整される」、「調和一致される」、「調節される」、「混ぜ合わされる」ことを意味し、それは区別を失うことを暗示します。ブレンドの目的は、私たちすべてをキリストのからだの実際の中へともたらすことです。**A.** 私たちは手続きとしての地方召会の中において、目標としてのキリストのからだの実際の中へともたらされる必要があります。**B.** 主の回復の最高峰は、真に、実際に、真実に神のエコノミーを完成することができます。それは神が物質的に多くの地方召会を生み出すためではなく、彼の有機体としての有機的なからだを生み出すためです。**C.** 召会が一つパンであるというパウロの思想は、彼自身の発明ではありませんでした。そうではなく、それは旧約聖書の穀物のささげ物から取られました。穀物のささげ物の小麦粉のあらゆる部分は油と混ぜ合わされました。それがブレンドです。**D.** ほとんどだれもブレンドについて語りません。なぜなら、これは非常に高く深いくだけなく、また非常に奥義的であるからです。ブレンドは物質的な事柄ではありません。私たちのブレンドの意義は、キリストのからだの実際です。**E.** キリストのからだの実際のためにブレンドされようとするなら、私たちは十字架を経過し、その霊により、キリストを他の人に分与して、キリストのからだを建造しなければなりません。**F.** ブレンドが意味することは、私たちがいつでも立ち止まって、他の人と交わりを持つべきであるということです。もし私たちがキリストのからだの感覚を持っており、キリストのからだのブレンドと実際の中にいるなら、私たちは自分と組み合わされている他の聖徒たちと交わりすることなしに、何も行なわないでしょう。**G.** 一人の同労者は何をするにも事前に、他の同労者たちと交わるべきです。長老は他の長老たちと交わるべきです。召会生活において、主の働きの中で、私たちはみな組み合わせにおいて、交わりなしに何も行なわないことを学ばなければなりません。**H.** ある責任者の兄弟たちのグループは常々共に集まっていますが、ブレンドされていないかもしれません。ブレンドの意味は、私たちが十字架を経過し、その霊によって物事を行ない、あらゆる事をキリストのからだのために行なって、キリストを分与することによって、私たちが他の人に触られるということと、私たちが他の人に触れるということです。**I.** このようなブレンドは、交際ではなく、個々の肢体、地域の諸召会、同労者、長老が享受し、経験し、あずかっているキリストのブレンドです。**J.** ブレンドがからだであり、ブレンドが一であり、ブレンドが一つ思いです。**K.** ブレンドは、キリストの宇宙的なからだを建造して、神の大いなる喜びにしたがって、神のエコノミーの最終的な目標である新エルサレムを究極的に完成するためです。

CP1:終わりの時代に主は勝利者を召している。この召しに
応じるため、どんな時でも霊と信実をもって主と交わる

OL1:キリストのからだの実際は、神のエコノミーにおける
最高峰と聖書における最高の啓示であり、知恵と啓示の
霊を通して啓示されます。エペソ1:17 どうか、私たちの
主イエス・キリストの神、栄光の御父が、知恵と啓示の
霊をあなたがたに与えて、あなたがたに彼を十分に認
識させ、22-23 また神は、万物をキリストの足の下に
服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に
与えられました。この召会は、キリストのからだであり、
すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。

今日、キリストはご自身を表現するために、依然とし
て一つのからだを必要とされます。ちょうど人が自分で
あるすべてを表現するためにはからだが必要であるよう
に、キリストはご自身を表現するためにからだが必要で
す。からだの機能は、キリストの完全な表現になること
です。私たちは、耳や、口や、目や、手や、足といった
体のどれか一つの肢体だけを通して、自分の個性を現
すことはできません。同様に、キリストもご自身の個性
を、ご自身のからだのどれか一つの肢体だけを通して
現すことはできません。キリストを現すために、キリスト
のからだ全体が必要です。私たちは、キリストのあらゆる
ものは、キリストのからだを通して表現されることを見
なければなりません。...キリストのからだは、地上におけ
るキリストの延長と継続です。キリストは地上で三十年
以上を費やしてご自身を啓示されました。彼はこのこ
とを個人のキリストとして行なわれました。今日、彼は召
会を通してご自身を啓示しておられます。

OL2:シオンによって予表される勝利者は、キリストの
からだの実際であり、諸地方召会の中でからだの建造を
究極的に完成して、永遠において究極的に完成した
聖なる都、新エルサレムをもたらします。新エルサレ
ムは神の住まいとしての至聖所です。新天新地におい
て、新エルサレム全体はシオンとなり、すべての信者
は勝利者となっています。**OL3:**シオン(勝利者)がなけ
れば、エルサレム(召会生活)は、保たれ維持されるこ
とができません。もし一つの地方召会に勝利者がいな
ければ、その召会はシオンのないエルサレムのように
です。その召会は空気の抜けたタイヤのようになります。
啓14:1 また、私が見ていると、見よ、小羊がシオンの山
の上に立っており、彼と共に十四万四千人がいて、小羊
の名と彼の父の名がその額に記されていた。21:16 都
は正方形であり、...彼がその葦で都を測ると、一万二千
スタディアであり、その長さと同幅と高さとはみな等しい。

この高嶺に到達するには、祈りによる以外に道はあ
りません。エルサレムがクリスチャンの大きな領域とし
てあるのは極めて明らかですが、シオン、勝利者はど
こにいますのでしょうか?...勝利者はシオンであり、そこに
神がおられます。これが、神の聖なる御言における霊
的な啓示の内在的な実際です。私たちは、主の回復
とは何であるかを認識しなければなりません。主の回
復は、シオンを建造することです。

シオンは、召会、聖なる都の高嶺、中心、引き上げ
るもの、強めるもの、豊かにするもの、実際です。もし
一つの地方召会に勝利者がいなければ、その召会は
シオンのないエルサレムのようなのです。

適用:新人及び青少年・大学生編

新人や若者の皆さんは召会がキリストのからだであ
るビジョンをはっきり見てください。キリストのからだは
キリストの団体的な表現として、個人のキリストの継続
と発展です。神の新約エコノミーの開始(Initiation)とし
て、個人のキリストが四福音書の中に啓示されていま
す。このエコノミーの発展(Development)であるキリス
トのからだは、新約の22の書簡の中に啓示されていま
す。そして、啓示録の中で、神の新約エコノミーは終
結(Finalization)し、キリストのからだの実際である勝利
者たちが主の再来をもたらします。

今、あなたは神の新約エコノミーの結末の時代に
います。この時代に神は勝利者を召しています。あな
たがこの召しに応じて、勝利者となる道を取ることが
できますように。また、勝利者になるとは、正常なクリ
スチャンになることです。自分は若いので、勝利者に
なるのは、「難易度が高すぎてできない」と考えること
は、サタンの騙す策略です。勝利者となるための能
力は、内住のキリスト、イエス・キリストの霊の満ち溢
れる供給です。

例えば、あなたは「私を勝利者にしてください」と形式
的に祈っても、本気で、あるいは信仰を持って祈って
いないかもしれません。あなたは主と交わる時、霊と信
実をもって交わってください。もし、今、あなたが本気で
勝利者になる道を歩みたくないなら、「主よ、私は本
気で勝利者を生み出すための回復の道を歩む気がまだ
ありません。聖書によれば、この感覚は、『主人が来る
のは遅れる』と考えた怠惰な奴隷の感覚です。しかし
私はこのまま怠惰な奴隷のままにいたくありません。
主よ、私は正直に御前に出ます。心をあなたに開きま
す。この矛盾を解決してください」と祈ってみてください。
主と交わるとは、一人の生きたパーソンと交わることで
す。主との交わりの中で、主はご自身を分与すること
ができ、あなたは主を喜ばせているのか、あるいは悲しま
せているのかを理解することができます。

主を悲しませている時でも、主はいつもあなたを愛
し、あなたを思っています。パウロは「キリストが私の中
に生きておられるのです。...私は今、...私を愛し、私の
ためにご自身を捨てて下さった神の御子の信仰の中
で生きるのです」(ガラテヤ2:20)と言っています。同様
に主はあなたを愛し、あなたのために死にました。あな
たが滅びるのを惜しみ、あなたが神のエコノミーの中
で生き、勝利者になることを期待して、十字架上で死
にました。ここに愛があります。決して、主を天にいる
客観的な神だけにしてはいけません。キリストの愛が
あなたに四方から押し迫りますように! あなたの中に
生きる内住のキリストが、あなたが勝利者になるため
の全ての必要を供給します。祈り:「おお主イエスよ、
神の新約エコノミーの結末の時代である今、神は勝利
者を召しておられます。私はこの召しに対して、正直
な自分の気持ちを持って主の御前に出て祈ります。
主に開けば、主は私にご自身を分与してくださいませ
う。私が主を悲しませている時でも、主はいつも私を思
い、私を愛してくださっています。あなたの愛がさらに押
迫ってください。内住のキリストは、私が勝利者になる
ための全ての必要を供給して下さると信じます」。

**CP2:からだの中で、からだと共に、からだのために、
ABC(Available, Burden, Capable)を持って奉仕する**

OL1:主が緊急に必要としていることは、神・人の生活をする勝利者がキリストのからだの実際として諸地方召会において表現されることです。からだの十分な表現がなければ、主イエスは再来しません。

三十三年半の間、この神・人、イエスは真の人でしたが、人の命によってではなく、神の命によって生きられました。そのような命を生きるために、彼は十字架につけられなければなりません。新約で述べられている十字架は、カルバリ山での木の十字架の上で起こりました。しかし、キリストは物質の十字架につけられる前に、三十三年半の間、毎日、十字架につけられていたことを、あなたは認識しなければなりません。イエスは人、真の人ではなかったでしょうか？ そうです。しかし、彼はその真の人によって生きませんでした。そうではなく、彼はその真の人を十字架の上に保ちました。そして、復活の意味で、彼は神の命を生きました。神の命とそのすべての属性は、この神・人、イエスの内側で生きられ、この神・人の美德として表現されました。

そのような命は本来、個人の人イエス・キリストの中にだけありました。しかし、この命は今や、贖われ再生されて、内側に神聖な命を所有する多くの人の中で繰り返され、複製されています。彼らはみな養われ、聖別され、造り換えられ、成就されて、ただ円熟したクリスチャンになるのではなく、神・人になります。キリストのからだの実際は、成就された神・人による団体の生活です。

OL2:他の肢体と共にキリストのからだの実際の中で生きるために、私たちはみなキリストのからだの感覚を持つ必要があります。**I コリント12:26-27** もし一つの肢体が苦しむなら、すべての肢体が共に苦しみます。もし一つの肢体が栄光を受けるなら、すべての肢体が共に喜びます。今や、あなたがたはキリストのからだであり、そして各自は肢体なのです。

聖書の中には、反意語を持つ多くの言葉があります。例えば、純潔と不潔、聖と俗、勝利と敗北、その霊と肉、キリストとサタン、王国とこの世、栄光と恥などです。... ちょうど、御父がこの世に相對し、その霊が肉に相對し、主が悪魔に相對するように、からだは個人主義に相對します。いったん人がキリストのからだを見るなら、個人主義から解放されます。彼はもはや自分のために生きないで、からだのために生きています。

I コリント12:14~27は、肢体が持つ可能性がある二つの間違った概念について語っています。**①「私は...ではないから、体に属していない」(15節)**と言う場合です。これは自分をさげすみ、他の人の働きをうらやむことです。**②「私はあなたを必要としない」(21節)**と言う場合です。これは自分を誇り、一人の人がすべてを含んでいると考えることであり、他の人たちをさげすんでいます。これらの観念は両方とも、からだにとっては有害です。私たちは他の肢体を模倣したり、他の肢体をうらやんだりすべきではありません。このようにして、私たちは自分が他の人のようになれなくても、落胆することではなく、またあきらめることもありません。同時に、私たちは自分のほうが上手であるとか、自分のほうが有用であるとか思って、他の肢体をさげすむべきではありません。

適用:奉仕者編

Living Stream Ministry の責任者であったアンドリュー兄弟は、奉仕者の資格としての ABC を交わってくださいました。Available(いつでも奉仕できる)、Burden(負担がある)、Capable(能力がある)です。このABCは、ローマ12章に啓示されたからだの生活と奉仕とも一致します。からだの生活ではまず、Available になるために実際的に体を捧げ、時間を捧げる必要があります。あなたは召会の必要があれば、いつでも Available であるべきです。そうであれば、あなたは祝福されるでしょう。

神の分与の順序は霊→魂→体の順番ですが、からだの生活の実行では、体→魂→霊の順になります。**ローマ 12:1** 兄弟たちよ、こういうわけで、私は神の慈しみを通して、あなたがたに勧めます。あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてさげなさい。それが、あなたがたの理にかなった奉仕です。**2** またこの時代にかたどられてはいけません。むしろ、**思いが新しくされる**ことによって造り換えられなさい。それは、何が神のみこころであるか、すなわち何が善であって、喜ばれ、完全なものであるかを、あなたがたがわきまえるようになるためです。**3** 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人一人に言います。自分自身について思うべきことを超えて、思い上がることなく、むしろ神がそれぞれに割り当てられた信仰の度量にしたがって、冷静な思いで思うべきです。**4** 一つの体の中には多くの肢体があり、そしてすべての肢体が同じ機能を持っていないように、**5** 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。...**11** 熱心で怠ることなく、**霊の中で燃え**、主に仕えなさい。

「In the Body, with the Body, for the Body, with ABC(からだの中で、からだと共に、からだのために、ABCを持って)」の奉仕ができるかどうか、あなたの有用性を決定します。従って、からだの奉仕を学ぶことはあなたにとって、決定的に重要です。あなたは自分自身を高く見すぎてはいけませんし、また自分を低くしすぎてもいけません。からだの中で自分の機能を果たしてください。

からだの奉仕において、一人や数人だけが活躍してはいけません。むしろ、他人が機能するために、成就する働きでは大活躍してください。私たちの物質の体において、すべての肢体が機能するように、キリストのからだの全ての肢体が機能するべきです。全員が機能することが、聖霊が流れるための原則です。ですから、聖徒たちを成就する働きは非常に重要です。

召会には子供たち、若い学生、在職青年、壮年、年長者に至るまで、すべての世代がそれぞれの度量に応じて機能するべきです。**祈り:**「主イエスよ、主は地上でキリストを表現する団体的なからだを必要としておられます。私はキリストのからだの実際の中で生きるために、十字架を経過して、キリストのからだの感覚を持つ必要があります。からだの生活、奉仕において、Available(いつでも奉仕できる)、Burden(負担がある)、Capable(能力がある)のABCが重要です。まず体を捧げて、思いにおいて新鮮にされ、霊において燃やされて、からだの中で、からだと共に、からだのために、ABCを持って奉仕にあずかります」。

CP3:キリストのからだのビジョンを見て、個人主義から救われる。からだの供給の下で、難関を突破する

OL1:キリストを見ることは、罪からの解放という結果になります。からだを見ることは、個人主義からの解放という結果になります。私たちは見るという方法以外で、からだの領域に入ることはできません。

コロサイ4:15-16 ラオデキヤにいる兄弟たちに、またヌンパと彼の家の召会によろしく。そして、この手紙があなたがたの間で読まれたなら、ラオデキヤの召会でも読まれるようにしてください。またあなたがたも、ラオデキヤからの手紙を読んでください。

もしあなたがからだの肢体であるなら、あなたは自分が他の肢体によって制限されることを許さなければなりません。ここに私たちは十字架の必要を見いだします。

キリストのからだは、肢体に対する保護であるばかりでなく、すべての肢体に対する制限でもあります。...私たちは、自分が自分自身の道を行くことを許してはなりません。むしろ、私たちは他の兄弟姉妹とブレンディングされることを学ぶべきです。個人的な性情や特異性は、召会の中では何の地位もありません。どの肢体も他の肢体の賜物を尊ぶべきであり、自分自身の賜物に忠信であるべきです。さらに、すべての肢体は自分の度量を知り、自分を高く見すぎるべきではありません。すべての人がこのようであれば、何のねたみも、野心も、他の人ができることをしたくなる願望もなくなるでしょう。...多く人は自分の度量を見ていません。その結果、彼らは自分の境界線を越えてしまいます。...もし肢体が召会の中でこのように振る舞うなら、ある人は独占し始めるでしょうし、他の人は後退するでしょう。その結果、召会には損失となってしまいます。私たちは、このように振る舞うべきではありません。私たちは立ち返ってからだの中の地位を取り、からだによって制限されるべきです。

私たちの多くはこのような経験を持っています。私たちは湯きを覚えた時、また壁に当たった時、他の兄弟姉妹に私たちのためにとりなしてもらう必要があります。そうしてはじめて私たちは切り抜けることができます。

OL2:キリストのからだの実際のために、神はからだを調和させられました。「調和(ブレンディング)される」という言葉は、「調整される」、「調和一致される」、「調節される」、「混ぜ合わされる」ことを意味し、それは区別を失うことを暗示します。ブレンディングの目的は、私たちすべてをキリストのからだの実際の中へともたすことです。**1コリント12:24** 私たちの美しい肢体には、その必要はありません。神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。

10:17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

私たちの間で、私たちはキリストのからだのすべての個々の肢体のブレンディング、ある地域でのすべての諸召会のブレンディング、すべての同労者のブレンディング、すべての長老のブレンディングを持つべきです。ブレンディングが意味することは、私たちがいつでも立ち止まって、他の人と交わりを持つべきであるということです。その時私たちは多くの益を受けるでしょう。

適用:ビジネスパーソン・大学院生編

ビジネスパーソンや研究者の聖徒たちは、自分からからだの肢体であることを認識して、自分をからだの中に置き、からだの供給を受けることを学んでください。突破できない環境がある時、からだに開いて交わってください。からだがとりなす祈りをする時、あなたは突破できます。

兄弟の証し:私は会社で突破できない問題に出くわした時、からだに開き、祈ってもらうことで突破することができた経験が何度もありました。ある時、東京本社に転勤してもっと重要な仕事をするように強く勧められました。実はこの勧めは2度目だったので、私は「以前にも断つたのに、なぜまた要請されるのか?」と不思議に思いました。そして、この勧めが米国本社No.3のExecutive VPから来ていることが分かり、更に困惑しました。しかし、召会のことを考えると、とても神戸を離れることができませんでした。この提案を受け入れないので上司から厳しく叱責され、会社での立場も悪くなったので、おもだった兄弟姉妹に私の仕事のことを祈ってもらいました。そして聖徒たちの祈りを通して、自分の信仰が試練を通して試されていることが分かりました。召会生活のために神戸を離れることができないのは、からだの制限だと明確に理解しました。その後、主の導きの下で、関西の別の会社へ転職しました。転職先での待遇や幅広い権限は、以前の会社で出世するよりはるかに良いものでした。転職してから、上記の困難は、私がその会社から出て、次の会社に移るための環境であったことが分かりました。私が学んだことは、どんな環境でも、兄弟姉妹たちを開き、彼らにとりなしの祈りをしてもらう必要があるということです。からだの祈りがなければ、私の内側のビジョンの更新も、内側と外側の聖霊の導きもありませんでした。

ピリピ1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。

からだの中に自分を置こうとする時、またからだの中で奉仕をしようとする時、あなたは個人主義を対処しなければなりません。からだのどの肢体も、自分のために機能することはあり得ません。からだの中に個人主義はあり得ません。個人主義があると、からだに開くことができませんので、からだから益を受けることもできません。

例えば、あなたは自分と気の合った人がその奉仕に参加しているかどうかを見てから、その奉仕に参加するかどうかを決めようと思います。これは個人主義の一つの形態です。また、自分が良く受け入れられ、活躍できそうかどうか見極めようと考えます。これは個人主義の別の形態です。これらの原則は、会社においても同じです。

更に、あなたは様々なブレンディングに参加してください。ブレンディングにより、キリストのからだの実際にあずかることができます。

祈り:「おお主イエスよ、私はキリストのからだの肢体として、からだの中に留まります。その時、からだによって保護されるだけでなく、また制限を受けます。特に個人主義はからだの中で受け入れられません。私を個人主義から救ってください。私が壁に突き当たった時、からだの肢体である兄弟姉妹たちを開き、彼らにとりなしてもらうなら、からだから供給を受けて突破することができます。ハレルヤ、キリストのからだの中で勝利です!」